

四万十図書館だより

発行*四万十市立図書館

梅雨が明けると、陽射しも一段と強くなり、本格的な夏の到来となりますね。図書館の入り口付近では、恒例の七夕飾り用の笹と短冊を用意していますので、願いを書きにぜひご来館ください。

また、児童参加型展示の「本の観覧車」「本のメリーゴーランド」も7月初旬に開始します。子どもたちが自分の気に入った本を次の利用者に紹介する企画ですので、暑い夏のひとときを図書館で涼みながらご覧いただけたらと思います。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■ → 休館日

7月図書館情報

● 図書館システム更新のため休館

7月2日(水)～4日(金) 3日間

※ 本館・分館ともに休館です。

本館

○ 児童『子ども図書館員体験講座』

日時：7月19日(土) 13:30～16:30

7月20日(日) 9:30～12:00

場所：図書館 多目的ホール

対象：小学3年生～中学生(両日参加できる方)

定員：6名程度

※ 詳細はホームページ
またはお電話でご確認ください。

一般展示

「涼を呼ぶ」

海・風・川など涼を呼ぶ本を展示しています。
読めばあなたも涼しくな～る？

場所：一般展示コーナー

ガラスケース展示

「五味太郎『ぼくはふね』パネル展」

第30回日本絵本賞において、大賞を受賞した五味太郎作『ぼくはふね』のパネルを展示しています。

場所：2階通路ガラスケース

児童展示

「いくつのほん」

「〇歳向けの本ありますか?」「なにがおすす
めですか?」との質問にお答えして、年齢
に応じた本を集めて展示しています。

場所：児童展示コーナー

児童特別展示

「2025 えほん50」

昨年刊行された絵本から全国SLA絵本委員
会が厳選した50冊(2025えほん50)のうち本
館で所蔵する絵本を展示しています。

場所：児童展示コーナー



新着本紹介



小説	『不等辺五角形』 貫井 徳郎
『明日もいっしょに帰りたい』 織守 きょうや	『へびつかい座の见えない夜』 砂村 かいり
『一撃のお姫さま』 島本 理生	『ぼくは刑事です』 小野寺 史宜
『踊りつかれて』 塩田 武士	『ポピュリズム』 堂場 瞬一
『彼女たちの牙と舌』 矢樹 純	『麦本三步の好きなもの 第3集』 住野 よる
『奇のくに風土記』 木内 昇	『恋恋往時』 温 又柔
『去年、本能寺で』 円城 塔	エッセイ
『携帯遺産』 鈴木 結生	『いとしきもの』 小川 糸
『皇后の碧』 阿部 智里	『老いはヤケクソ』 佐藤 愛子
『三国志名臣列伝 呉編』 宮城谷 昌光	『なみまのわるい食べもの』 千早 茜
『飛越』 馳 星周	外国文学
『スノードームの捨てかた』 くどう れいん	『漂着物、または見捨てられたものたち』 ルーシー・ウッド
『生活』 町屋 良平	『本と歩く人』 カルステン・ヘン
『対決の記者』 本城 雅人	郷土
『ティータイム』 石井 遊佳	『海と旅と文と』 上林 暁
『パズルと天気』 伊坂 幸太郎	『クロエとオオエ』 有川 ひろ

コンピュータ	社会
『ネット炎上事例 300』 小林 直樹	『ガザ、戦火の人道医療援助』 荻原 健
人生訓	『子どもの自殺はなぜ増え続けているのか』 渋井 哲也
『12歳から始める気にしない技術』 堀田 秀吾	自然科学
宗教	『まじめに動物の言語を考えてみた』 アイク・カーシェンバウム
『日本の聖地解剖図鑑』 えいとえふ	『ようこそプラネタリウムへ』 星ナビ編集部
伝記	医学
『「一汁一菜」で食卓を変える土井善晴の言葉』 桑原 晃弥	『心臓とこころ』 ヴィンセント・M・フィゲレド
『一步が踏み出せなかった私へ』 IKKO 他	『みんなのコンビニ栄養学』 濱 裕宣 他
『図説豊臣秀長』 河内 将芳	『めまいピタリ止まる最強療法』
『バブル兄弟』 西崎 伸彦	料理
旅行	『つつむ料理』 長尾 明子
『るるぶ大阪 '26』	『はちみつスイーツ』 若山 曜子
『るるぶ箱根 '26』	クラフト
『るるぶドイツロマンチック街道 2025』	『かわいいレトロなペーパークラフト』 つつひ ひなた

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など

貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)

定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)

※夕方・土日祝日駐車レーンを確保しています (守衛棟北側縦列駐車3台分)